

地方創生に向けたアイデア一覧

No.	区分	アイデアの内容	年代	性別	住所	市の考え等
1	地域活性化	秋田で作ったお米を使って作ったおにぎり、おにぎり祭を行うというのはどうでしょうか。市内の飲食店に協力していただいたり、住民のアイデアを募ったりして行えたら素敵だと思います。また、秋田で採れる美味しい食材を使って具を考案できたらいいと思います。 期待される効果は、秋田のお米の美味しさを再確認できること。協力していただいた飲食店を参加者に広めることができること。人気のあったおにぎりを商品化できたら、もっとたくさんの効果が期待できると思います。	20	女	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
2	人材育成	市内に卓越した高度な技術力を持った若い技術者を生み出す工業技術専門学校を作ること、そして、その技術力を市が管理運営することです。 日本に一つしかない高レベルの技術者養成専門学校（全寮制、5年制、生徒数200～250名の学校）に全国から優秀な学生を募集し入学させる。最初の3年間は基本学科と外国語の習得です。残りの2年間は実験と各種の国家技術の習得を受験することと企業での短期間実習です。また、より高度な技術と研究開発のために2年間の研究開発課を開く。 そして、卒業生の扱いについては、秋田市が管理しプールしている生徒を全国各地からの技術者を求める企業に対し、3年、5年の技術者の貸出契約を、企業と学生と秋田市で結ぶ。企業との契約金の一部に対し、学校の運営費と研究開発費にあてるための寄附金とする。 学生は外国企業からの求めにもOKできるように外国語（英語）の日常会話ができるように学んでおく。 設ける学部は、①建築、②機械、③電機（重電）、④エネルギー、⑤空気力学（飛行機）等。	70	男	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
3	人口減少対策	①教員採用を若年女性中心にする。 ②出産祝い金を1人目から。 ③他県から嫁いだ女性をもっと歓待する（意見に耳を傾ける）。 ④ALTをスタッフとしてだけでなく、ゲストとしても捉える。	50	女	県内 (横手市)	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
4	健康増進	公園で気楽に運動ができる健康遊具（例：ストレッチベンチ等）の設置を検討してみてもどうか。	60	男	市内	公園施設のバリアフリー化を進めているところであり、高齢者など誰もが利用でき、健康作りに取り組める介護予防施設の設置も進めています。
5	高齢化対策	高齢者コインバス事業を利用できる年齢を65歳以上に	60	男	市内	対象年齢の引き下げについて検討します。
6	産業振興	休耕田やもう地主がいなくなった田や畑を買い取るかして（ローンも可）ある程度の人員10～30人くらいの農業法人を立ち上げる。元々の地主でも良いし広く全県、全国に呼びかけ農業を志す人達に来て頂く。出来ればその中に専門的な農耕の知識を持っている人がいることが望ましいです。いない場合は行政側でしかるべき人を紹介する。 食料自給率が低く資源に乏しい我が国ではいずれ今の様な製造業主体の産業構造は限界が来ると思います。10～20年あるいはもっと時間をかけ戦前のような農林水産業主体の産業構造に戻っていかざるを得ないと思います。時間をかけ農業に従事する人を増やしてゆき、そうすればそこに雇用が生まれ人口減少に歯止めをかけるのではないかと思います。 自分が思い描く青写真はこうですが、まずそもそも人が集まるのか。 集まってくれてもすぐまた帰ってしまうのでは意味がありません。 地産地消を推進するなど官民一体でバックアップして秋田の魅力を発信する。秋田の農産物は美味しく安全性も高い。農業は安定して収入を得られる良い産業である。 そのように特に若い世代に意識付けをしてゆく努力を続ける必要があります。 もちろん自然との戦いですのでそううまくいかないでしょう。しかし秋田の主幹産業は何か？ 秋田市は働く場が無いと言って出て行く若者が多いです。企業の招致等と言っても所詮雇用に限界はあります。であれば今衰退している農業の復興が一番の策ではないかと思います。	—	男	—	稲作に強く依存した本市農業を収益性の高い園芸作物中心の生産構造へ転換することにより、農家所得の向上と農業経営の安定化を図ることを目的として園芸振興センターを設置し、園芸作物に特化した新規就農研修や冬期農業研修等の担い手育成、秋田市の戦略作物の実証展示、新エネルギーを活用した都市近郊型周年農業の確立を目指しています。

No.	区分	アイデアの内容	年代	性別	住所	市の考え等
7	観光振興	(1) 竿灯祭の見直し・・・六魂祭で誰もが感じたと思われるが、竿灯は動き・音楽に乏しく、視覚的・聴覚的魅力に欠ける。遠来の観光客が秋田の祭りを一度に楽しめるよう、県各地の盆踊りをパレード形式で披露する。そこに若者の「やーとせ」やブラジル風「サンバ」を加えれば、盛り上がること間違いなし。踊りごとにチームで競わせれば、参加チームは年ごとに増える。 (2) パレードはアメリカに学ぶ・・・ディズニーランド始め、アメリカに一日の長があるので、アメリカを手本とする。中学・高校にパトنگールを含む「鼓笛部」の創設を働きかけ、パレードの先頭を依頼する。「パレードを見るなら秋田」と全国に定評ができるほど、春・夏・秋の祭りの回数を増やす。 (3) 「歴史と観光は別」・・・と割り切って、千秋公園に「秋田城」を建てる。何と言っても、お城は日本建築の華。秋田市の中心・ランドマークとして必要である。資金の半分は、市民からの寄付を募る。	60	男	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
8	地域活性化	セリオン併設でJRA場外馬券場を設置。 「道の駅」と併設になるので、駐車場は近隣の空き地等を借りて確保する。 現在「道の駅」として使用しているスペース等を再検討して1、2階を使用する。 JRAからの興行収入を獲得し、他施設および市政に活用する。 運営には、民間人を登用する。	60	男	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
9	その他	地方創生アイデア検討会（意見交換会）の実施を検討する場合は、他地域から秋田市に移住した方や、他地域から転勤で秋田市に戻った方に多数参加していただく。 秋田市だけしか知らない方々だけではなく、比較することのできる方、想像力と経験を持っている方々の有効活用。	60	男	市内	地方版総合戦略等の策定にあたり、様々な分野の有識者からなる「秋田市総合計画・地方創生懇話会」を設置しています。
10	少子化対策	子どもの医療費優遇策（第2子、第3子の外来の医療費を中学生まで全額無料にする。） 第2子、第3子以上の出産には、市から「出産祝い金」を贈る。（例. 第2子5万円、第3子10万円） 子どもが2人以上の夫婦には、住宅費助成として、「年間収入の最高限度額」と連動せずに、市営・県営住宅を提供する。 施設利用費も第2子、第3子は無料化。	60	男	市内	医療費の助成対象の拡大や子育て世帯の引越し費用助成等を検討しているほか、多世帯同居・近居の住宅改修費補助など、住環境整備にも取り組んでいます。
11	産業振興	地元大学・高校、秋田市在住の方が市内に就職できるよう、東京、大阪、名古屋に本社があり、秋田市および隣接地に工場や事業所を有する企業に新規工場・事業所・新事業で秋田市を選択してもらえるよう行動を起こす。 国会議員、県議会議員、市議会議員を活用し、各企業に秋田市での事業拡大を勧誘する。	60	男	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
12	高齢化対策	高齢者参加の市主催行事を数多く、また多方面に渡るものを企画し、広報で多くの参加者を集める。 地域団体への参加により、奉仕活動する精神的な喜びと体を動かす運動効果が得られる。	60	男	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
13	公共施設利活用	箱もの（秋田市の公共建築物）の活用再検討。 広報あきたで秋田市の文化・スポーツ施設の図書館、美術館、体育施設、公園、レジャー施設、市民センター、公民館、活動センターの統廃合と別の活用の再検討。 少子高齢化が極端に進む秋田市で、現存させているがために莫大な費用をかけて維持している施設が多い。一方、秋田市中心部に秋田市および秋田県出身で、世界および日本で活躍した賢人の記念館（観光スポット）が必要である。県都に賢人を顕彰するものがないことも残念である。	60	男	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
14	人口減少対策	秋田の豊かな自然、文化、人のつながりで、都会から高校生の留学生を募り、若者の人口急減に歯止めをかけ、若者の人口増加、および今後の経済、産業振興、地域活性化に努めること。	70	女	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
15	その他	市民の知的資源（特許を取得した橋りょうの技術）を活用し、橋の公共事業において、地域内での地産地消を行うこと。	60	男	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。

No.	区分	アイデアの内容	年代	性別	住所	市の考え等
16	教育	秋田市オリジナルの精神的成長を大切に教育をする（小学校から大学まで）。 そのために他の国の良い例や考えを取り入れたり、学校の問題を指摘したりできる組織を、このテーマに賛同してくれる団体、専門家などをつくる（尾木ママなど）。 可能ならモデル校をつくる。	30	女	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
17	まちづくり	秋田市の広小路と中央通りを、現在の車道一方通行を改め、双方向通行にする。 新交通は、①片側一車線とする、②速度上限を30km/hとする。、③旭川沿いにある二カ所の横断歩道橋を撤去する。	70	男	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
18	観光振興	秋田市に魅力ある「OnlyOne」「No.1」の景観地（例えば、「死ぬまでに行きたい世界の絶景」に掲載されるような風景など）を人工的に作り、多くの観光客を集客することで地方創生を行います。魅力ある景観地をつくることで大手メディアが自発的に取材に訪れる状況をつくり、人口規模の大きい首都圏の観光客を取り込みます。魅力ある景観づくりは、世界的に有名な景観デザイナーの方々へ協力を要請し、各月/各場所ごとに魅力ある景観をつくります。	30	男	市内	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
19	観光振興・ 人材育成	秋田の観光・文化などの情報とアクティブな活動に適した広大なエリアを、広く世界に発信すべきだと思います。 ① 観光やコミュニケーションの拠点の整備 -1. 秋田市にこだわることなく「日本の東北地方」を凝縮したような古い町並みを「古民家集落」のような形で復元し、観光拠点とする。そこでは、地域に根差した文化、芸能、観光情報の実演紹介、食事施設は勿論、伝統工芸などの体験などが外国人に向けて提供できるようにすることがいいと思います。 -2. またWinter Sports（冬）/各種グライダー・カヌーなどのSports（夏）が楽しめるような拠点と、民泊ができるような宿泊施設を住民の協力によって整備する。流行のゲストハウスの整備も滞在型の若者を呼ぶ一つ材料になるかもしれません。 ② 秋田の情報を世界に向けて発信 紙情報に限らず、ホームページ、フェイスブック、YouTubeなどのネットをフル活用し、英語、韓国語、中国語などの外国語で情報発信する。それぞれの国の方を職員として雇い、秋田・国際教養・県立大、または高校生などの学生の力を借り、陳腐化しないように継続発信することが大切だと思います。 ③ 人材の育成 伝統産業などを教える中高年の技能保持者、おもてなしをする地域住民、外国語支援や古い文化の現代風アレンジと発信を行う若者を、秋田を基本としつつも、秋田にこだわらず広く全国、世界から徐々に集めてはいかかでしょうか。	50	男	県外 (埼玉県)	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。
20	その他	秋田市内で使えるハウスマネーICカード「akica(仮)」を発行し、市内の各店舗や交通、行政、病院などで使用できるようにする。 ※将来的には県内全域まで拡大 akicalは地域商品券としても利用し、補助があった場合(今年度のプレミアム20%分など)はチャージに20%分の期間限定バリューを付加する。 チャージは銀行ATMなどから行えるようにする。  類似例①広島市の「HIROCA」 類似例②駒ヶ根市の「つれてってカード」	30	男	県外 (東京都)	地方版総合戦略策定にあたって参考とさせていただきます。